

# 保護者等からの事業所評価結果（公表）

別紙 4

公表：平成31年1月25日

事業所名 府中市立心身障害者福祉センター 子ども発達支援センターあゆの子

保護者等数 32 回収数 24 割合 75 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	11	6	0	<p>ちゅうりっぷ修繕中は狭く感じた。屋外に広めのスペースがあるとよい。1学年の人数が多いと狭く感じる。園庭があるとよい。</p> <p>部屋が小さいのに子供の人数が多いせまいです。</p> <p>トイレに部屋から直接行けるとよい。</p>	<p>定員に対し法令に適應したスペースは確保されていますが、築年数が40年近くなり、不具合が出ています。今年度は雨漏りによる改修もあり大変ご迷惑をおかけしました。改修、修繕をしながら対応しているところですが、引き続き現状のスペースを工夫して対応していきます。必要な修繕は府中市と協議しながら行います。また、現状や経過をふまえ、療育機関としての役割が十分に果たせるよう、市内療育の一層の充実を府中市に働きかけていきます。</p>
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	9	3	1	<p>STやOTが常駐しているとよい。</p> <p>先生によります。</p> <p>専門性については先生方に差があるように思います。</p>	<p>定員に対し法令に適應した配置数となっており、現状ではスタッフ全員が保育士や児童指導員の有資格者です。</p> <p>心理士、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士、医師は非常勤ですが、直接支援の他、職員への助言・指導も含め療育活動に参画しています。</p> <p>経験等から職員による専門性の差のご指摘がありますが、チームで療育を行うことで職員個人の力量に頼らず複数の視点でとらえられるように対応しています。また、一人一人がスキルアップしていけるよう研修計画を立て実施しています。</p>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	10	2	1	<p>老朽化（床のきしみ、ドアのロック）が目立つ。</p> <p>トイレの床が沈む。抜けたら怪我をする。</p> <p>構造が複雑、デザインがもう少し明るいとい。</p> <p>大人の方と一緒になので移動の際お互い危険。</p>	<p>構造上の限界もあり、ご迷惑をおかけします。子どもたちが理解しやすいよう刺激をコントロールした環境や、絵カードによる対応など日常的に行っています。</p> <p>福祉センターは複合施設であり、車いすの方や杖歩行の方、視覚障害の方などの利用があり、玄関を分けるなど動線の工夫で対応しています。さまざまな方が利用する環境なので、危険を感じたり気を遣う場面もあると思いますが、貴重な社会との接点、社会経験を練習する場でもあります。あゆの子の部屋を一步出たら「公共の場」として、子どもたちがマナーを学んだり、大人が動きを想定してかかわることなどに取り組む機会とらえていただけたらと考えています。</p>

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	8	1	1	清潔ではあるがごちゃごちゃしている。部屋もある。清潔ではあるが狭いです。	職員が日々の掃除、準備、環境整備をしています。日々の活動や動きに合わせてレイアウトを変えています。
	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	3	1	1	しっかり分析されていると思う。	日頃の活動や成長の様子と、発達検査や言語など個別の評価の結果等を踏まえ、ご家族に確認しながら作成しています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	3	0	3		引き続き、保育士・児童指導員と、専門職の協働により保護者とも課題を共有しながら支援計画を策定していきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	6	0	1		引き続き支援計画に沿って日々の課題やプログラム、一人一人への提供方法を考えていきます。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	8	2	0	同じように見えるものでも応用されたり子どもに合わせてレベルアップしてくれている。	繰り返しの積み重ねが必要な課題も多いため、固定で取り組むプログラムもありますが、個々の発達に合わせて応用していきます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	7	2	1	年少でも保育所体験があるとよい。在籍2年目からでないと交流できないのは残念。もっとあっていいと思います。年少でもそのような機会があるとうれしいです。	在籍1年目はまずあゆの子での生活が安定することを重視するため、保育所交流は在籍2年目以降の方を対象として実施しています。より有効な交流ができるよう、交流園や方法を見直しています。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	2	1	1	しっかりしてもらえた。	契約時と変更があった時に実施しています。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22	0	0	2	しっかりしてもらえた。	面談や家庭訪問で時間をとって説明しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	19	4	1	0	両親学級役立つ。 父参加プログラムを増やしてほしい。 両親学級はあるが皆の前で悩みを話さなくてはいけないため、個別の時間を取ってほしい。 ペアレントトレーニングをやってほしい。	両親学級、父母講演会、お父さんの会、きょうだいの会など家族支援プログラムを実施しています。今後も内容や方法の検討をしながら継続していきます。 両親学級では、他の方の悩みを知ることで自分だけではないと知ったり他の方の対応方法を参考にしたりという効果も期待して設定していますが、「皆の前で話す」内容についてはあくまでそれぞれが「支障がない・共有したい」と考える部分で大丈夫です。それとは別に、個別の相談を希望される場合は、お申し出いただければ調整しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	4	1	0	ちょっとした変化も見逃さず教えてくれるので安心。 帰りに様子を聞けるが、連絡帳に書かれている内容は「〇〇をやりました、頑張りました」で詳細が全く分からないことがある。 先生によってわかってない人も中にはいます。	朝と帰りに直接お話しできるので、その時間を大切にしています。連絡帳の記載は、活動時間中（昼食後の自由遊びの時間など）にするため、子どもの対応を第1優先としています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	0	0	毎日送迎時に話せるのがうれしい。	面談や家庭訪問、懇談会、両親学級等の設定のほかにも、毎日保護者と顔を合わせられるので、ちょっとした相談にも日々対応するようにしています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	4	0	1		あゆの子として設定する両親学級やお父さんの会などの他、あゆの子親の会（自主活動）に協力しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	6	3	2	その日の子供の様子を書いた用紙（提供記録）のコピーをいつまでたってももらえない。	ご意見箱を設置していますが、今年度は投函はなく、直接職員にご意見をいただくことが出来ています。 提供記録のコピーはご希望された方にお渡ししていますが、お渡しできていない方がいたようで、大変申し訳ありません。今回匿名アンケートのためもう一度お申し出いただければすぐに対応いたします。 また、今年度の連絡帳の様式についていくつかご意見をいただいていますので、作り替えも視野に検討しています。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	6	1	1	連絡帳に記入がない時や不十分な時もあります。	朝と帰りに直接お話しできるので、その時間を大切にしています。連絡帳の記載は、活動時間中（昼食後の自由遊びの時間など）にするため、子どもの対応を第1優先としています。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	5	2	4	行事のお知らせ・説明会が直前になることが多い。	日常的には、掲示板やあゆの子だよりを活用して各種情報の発信をしています。行事についてはオリエンテーションを実施しますが内容の変更があったり部屋の調整等の都合で、余裕を持ったタイミングで実施できないことがあり申し訳ありません。より確実な情報をお伝えするためご理解いただきたいところです。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	2	0	3		引き続き十分注意して取り扱っていきます。
	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	8	7	3	説明はしているが訓練は保護者は受けていません。 マニュアルは説明されていますが訓練は分かりません。 訓練が行われているかどうか分かりません。	マニュアルを整備し、職員研修として訓練（嘔吐物の処理など）をしています。
非常時等の対応	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	4	7	8	是非やってほしい。 訓練は全くしてないと思う。 避難訓練がされているかわからない訓練を受けていないので不安です。 定期的に行われているか分かりません。 訓練が行われているかどうか分かりません。	福祉センター全体として、各事業の担当で構成する「防災担当」があり、防災訓練・通報訓練・消火訓練・避難訓練などを実施する月もあります。 避難訓練は職員のみでなく、館内利用者すべてを対象にして行うものもあります。
	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	23	1	0	0	年中からあゆの子に移り、初めは変化に対応するのが難しかったが今は楽しみにしていると思う。 とても楽しみにしています。本当にありがたいと思っています。	子どもにとって安心できる居場所となるよう、対応や環境について考えていきます。

		チェック項目				ご意見		ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
満足度	㊸	事業所の支援に満足しているか	14	9	1	0	個別の授業があるとなおよい。 先生たちに良くしていただいて感謝しています。ただスペースが狭いかなと思う所はあります。	ご家族にとっても安心して利用できる事業となるよう、今回の自己点検等の結果を踏まえ日頃の対応に活かしていきます。	
その他のご意見：						今回のアンケートは事業所評価につながる内容になっている。昨年度までのアンケート内容に変えた方がよい。	昨年度のアンケートは、第三者評価の一環として行いました。今年度から毎年の自己評価結果の公表が義務付けられたため、今回のアンケートは「児童発達支援ガイドライン」に準じた項目で実施させていただきました。		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。